

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和5年11月13日同時配布

国総研 研究報告第73号 『リーファーコンテナエリアへのルーフシェード 設置効果の評価手法の提案』を刊行します

本資料では、博多港のRCエリアに設置されたルーフシェードの設置効果进行评估するシミュレーションモデルにより省エネ効果を推計し、その結果を用いて経済性を分析する方法を提案し、他地域への適用の可能性について評価しました。気象庁データを用いることで季節別、地域別の省エネ効果の算定が可能となり、省エネ率は夏季より冬季が、温暖な地域より寒冷な地域が大きい可能性があることが明らかとなりました。本資料の成果は港湾の意思決定者がルーフシェード導入の事前評価を行うための有力なツールとなるため、世界の港湾の省エネ・脱炭素化に貢献することが期待されます。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 先行研究の整理
- 第3章 ルーフシェードの概要と設置効果検証実験
- 第4章 温熱シミュレーションモデル
- 第5章 博多港における夏季の省エネ効果の推計
- 第6章 シミュレーションモデルの他季節及び他地域への適用
- 第7章 経済性分析
- 第8章 おわりに

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<https://www.ysk.nilim.go.jp/kenyuseika/pdf/kh0073.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部
港湾新技術研究官 杉村 佳寿 (内線：3300)
TEL：046-844-5019 E-mail：ysk.nil-46pr@gxb.mlit.go.jp